

令和7・8（2025-2026）年度複合構造委員会 第7回幹事会 議事録

日 時：令和8（2026）年5月15日（金）14:00～17:00

場 所：鹿島建設KIビル会議室，Web併用(Zoom)

出席者：大山委員長，北根副委員長，平幹事長，川端幹事，塩畑幹事，高橋幹事，内藤幹事，中田幹事，
中原幹事，中村幹事，橋本幹事，藤林幹事，藤原幹事，皆田幹事，~~山上幹事~~，山本幹事，横田幹事
(敬称略)（下線：オンライン参加，取消線：欠席）

配布資料：

- 幹7-0 令和7・8年度複合構造委員会第7回幹事会議事次第
- 幹7-1 令和7・8年度複合構造委員会第6回幹事会議事録
- 幹7-2 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担
- 幹7-3 2026(R8)年度委員会スケジュール
- 幹7-4-1 メール審議・報告事項
- 幹7-4-2 【お願い】研究企画委員会（兼調査研究部門会議）の（第Ⅰ分野）委員選出のお願い
- 幹7-4-3 2025年度委員会活動度個別調査書確認の依頼
- 幹7-5-1 令和7年度委員会予算 決算
- 幹7-5-2 令和8年度委員会予算 予算書
- 幹7-6-1 令和8年度土木学会全国大会・共通セッション
- 幹7-6-2 令和8年度土木学会全国大会・研究討論会
- 幹7-6-3 令和8年度土木学会研究討論会スケジュール
- 幹7-7 企画について
- 幹7-8 複合構造委員会HPについて
- 幹7-9 シンポジウム小委員会(H001)
- 幹7-10 土木学会論文集特集号（複合構造）(H005)
- 幹7-11 複合構造の継続教育（H006）
- 幹7-12 300年暴露プロジェクト小委員会報告（H007）
- 幹7-13 出版関連報告
- 幹7-14 H111 カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会
- 幹7-15 H153 複合構造標準示方書適用検討小委員会
- 幹7-16 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会
- 幹7-17 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会
- 幹7-18 H223 弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会
- 幹7-19 H224 AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会
- 幹7-20 重点研究課題
- 幹7-21 複合構造委員会第3回委員会議事次第（案）
- ~~幹7-22 R7-8委員会の任期とその後の全体スケジュールについて~~
- 幹7-23 複合構造委員会規則ならびに運営細則の改正について
- 幹7-24 委員長選挙の電子化について
- ~~幹7-25 構造系3委員会連絡会~~
- 幹7-26 複合構造委員会小委員会一覧

議事内容：

1. 委員長挨拶

大山委員長より、開会の挨拶があった。

2. 複合構造委員会第6回幹事会議事録確認（幹 7-1）

橋本幹事より、第6回幹事会議事録の説明があった。今回から事前にメールにて確認しているため（案）を削除している。

3. 令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担（幹 7-2）

平幹事長より、令和7・8年度複合構造委員会幹事会業務分担について説明があった。

- ・新規小委員会である H153 を表に追加した。
- ・議事録担当を変更した。

4. 令和8年度複合構造委員会スケジュール（幹 7-3）

平幹事長より、令和8年度複合構造委員会スケジュールについて説明があった。

- ・幹事会の予定として第13回を追加している。
- ・今年度は土木学会会議室以外の会場が多い。第3回親委員会は主婦会館プラザエフ、第9回幹事会は鹿島建設北海道支店会議室、第10回幹事会は大阪工業大学大宮キャンパス、第11回幹事会は港湾空港技術研究所を予定している。

5. メール審議・報告事項の確認（幹 7-4）

平幹事長より、メール審議事項と報告事項について説明があった。

(1) 親委員会宛

- ・審議事項はなし。
- ・周知事項として、土木図書館委員会について、留学生向け企業説明会について、第3回複合構造委員会開催について、構造系3委員会連絡会のアンケートのお願いを行った。
- ・第3回複合構造委員会開催については開催まで1か月を切ったので、再度周知を行う。

(2) 幹事会宛

- ・審議事項として、研究企画委員会の委員選出を行い、大山委員長に就任いただくことが決まった。また、2025年度委員会活動度個別調査書確認については土木学会からの数字で変更なしとなった。
- ・2026年度の幹事会ならびに親委員会の日程について周知された。日程については、第7回幹事会資料が最新となる。
- ・木材－コンクリート複合に関する雑誌記事について情報共有を行った。
- ・国交省／AIを現場判断の基盤についての建設工業新聞記事の情報共有を行った。

6. 令和7年度決算と令和8年度予算（案）（幹 7-5-1, 幹 7-5-2）

平幹事長より、令和7年度決算および令和8年度の予算（案）の報告があった。

- ・予算執行状況には複合構造標準示方書の買上費を計上した。

- ・今年度予算は現時点では確定しておらず、昨年度相当として配分した案である。
- ・予算配分案の委員会には第3回の会議費13万を見込んで入れている。

7. 令和8年度全国大会共通セッション、研究討論会について（幹7-6-1,幹7-6-2,幹7-6-3）

(1) 共通セッション

皆田幹事より、令和8年度全国大会共通セッションについて説明があった。

- ・61件の投稿があり、8セッションで割り振った。
- ・会場は北海学園大学の7号館6階行動科学実験室1となった。
- ・座長については全員から承諾を得ている。

(2) 研究討論会

平幹事長より、研究討論会について説明があった。

- ・タイトルは複合構造の「今」を知り、次の10年を考えるとした。
- ・座長は埼玉大学の牧先生にお願いしている。
- ・2部構成で考えており、ライブで行っているように録画し、配信を行う予定。
- ・複合構造委員会の討論会は、8/31（月）13:00～15:00の枠となっている。

8. 企画について（幹7-7）

(1) 現場見学会の実施について

藤林幹事より、現場見学会の実施報告があった。

- ・現場見学は3/16（月）に高槻高架橋東・西（鋼上部工）工事にて行った。参加者は14名であった。

(2) 新規小委員会立ち上げ

藤林幹事より、新規小委員会のテーマ案について説明があった。

- ・秋田大学で木材と鋼材を取り扱った研究が行われており、複合構造委員会としての調査研究テーマに繋がるか問い合わせている。高橋幹事が確認している状況では研究の取り掛かりの段階なので難しいのではないかとのこと。
- ・親委員会で引き続きテーマを募集することとした。
- ・皆田幹事から、木・コンクリート橋について情報共有があった。

9. 複合構造委員会 HP について（幹7-8）

横田幹事より、複合構造委員会 HP の更新状況について以下の報告があった。

- ・TOP ページの行事情報に第11回 FRP シンポジウムのお知らせ追加、幹事会議事録の追加を行った。
- ・資料では更新予定となっているが、第2種小委員会の H224 も追加している。
- ・議事録については随時追加、また新しい小委員会（H153）を追加予定である。

10. シンポジウム小委員会（H001）（幹7-9）

(1) FRP シンポジウムについて

山本幹事より、シンポジウムの活動状況について報告があった。

- ・後援については4協学会から承諾を得ている。日本建築学会は手続きに1か月程度かかるのとことで今後注意が必要とのことであった。
- ・特別講演について、第1候補は三井住友建設の永元様だったが、第15回複合シンポジウムの特別講演と内

容が一部重複するため、金沢工業大学の鵜沢先生に打診を行った。現在返信待ちである。

- ・展示会について、アンケートを実施した結果、7社中4社が対応可能とのことであったことから、会議室での実施を検討中である。

(2) 現場視察

藤林幹事から現場視察について報告があった。

- ・第2回シンポジウム小委員会の翌日に松江だんだん道路および境水道大橋のFRP検査路の経年変化状況について現場視察を行った。
- ・松江だんだん道路のFRP検査路ではステンレスボルト部に錆が見られた。
- ・境水道大橋のFRP検査路では、支持金具の固定部の腐食が見られた。

11. 土木学会論文集特集号（複合構造）（H005）（幹7-10）

大山委員長より、土木学会論文集特集号（複合構造）について報告があった。

- ・一般論文・一般報告は14編の投稿があり、報告の1編が不採択、1編が修正辞退となり計12編となった。
- ・展望論文および小委員会報告については校正完了している。
- ・J-STAGEへのアップロードは全16編となり、6月末を予定している。

12. 複合構造の継続教育（H006）（幹7-11）

皆田幹事より、複合構造の継続教育の活動状況について報告があった。

- ・第10回複合構造セミナーは10月15日に講義形式で行う。プログラムは、複合構造の基本、複合構造の設計、FRP補強部材の設計とした。講師は大山先生、石川先生、秀熊先生にそれぞれ依頼し、承諾いただいた。
- ・第11回複合構造セミナーは講演形式とし、2月開催で日程を調整中である。講師はNEXCO、JR、阪神高速の各社にお願いをしている。
- ・講演者について、JRはJRTTの朝長様に承諾いただいている。そのほか、NEXCO総研の宇佐美部長からは回答待ちの状況。阪神高速については7月以降に人選をするとの回答があった。
- ・講演形式の講師を3名とし、セミナーを2回開催としたことから、例年より謝金等の支出が増加する可能性があるため、親委員会予算配分案において配慮を求めた。

13. 300年暴露プロジェクト（H007）（幹7-12）

平幹事長より、特に動きなしとの報告があった。

14. 出版関連報告（幹7-13）

平幹事長より、出版物の販売状況について報告があった。

15. 小委員会報告・審議事項

(1) H111：カーボンニュートラルに向けた複合構造のあり方に関する研究小委員会（幹7-14）

川端幹事より、2月に講習会をしてから特に活動はしていないが、構造工学CN小委員会の重点課題の報告書を作成中であり、小委員会で査読して提出したとの報告があった。

(2) H153：複合構造標準示方書適用検討小委員会（幹7-15）

平幹事長より、委員候補の報告があった。

- ・委員会名簿（案）について幹事会で承認され、親委員会に審議いただくこととなった。

(3) H221：樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会（幹7-16）

橋本幹事より、活動状況について報告があった。

- ・1次原稿が完成し、小委員会での査読・修正作業が5月には終了する予定とのこと。
- ・幹事会での査読の担当は選定済みであり期間として3週間を予定している。

(4) H222：複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用に向けた研究小委員会（幹7-17）

内藤幹事より、活動状況について報告があった。

- ・現在、載荷試験を実施中である。4月15-16日に1体目、5月13-14日に2体目を実施した。5月20-21日に3体目を予定している。
- ・資料の活動期間に関する記載について、2期目が認められているので修正する。

(5) H223：弾性合成桁の設計に関する調査研究小委員会（幹7-18）

山本幹事より、小委員会が5月22日に開催予定との報告があった。小委員会の前に設計WGと解析WGをそれぞれ開催する予定である。

(6) H224：AIを活用した複合構造物のライフサイクルマネジメントの高度化に関する研究小委員会（幹7-19）

内藤幹事より、第2回委員会を3月24日に開催し、第3回委員会を5月27日に行う予定との報告があった。

(7) 重点研究課題：未曾有の自然災害における構造物挙動を考えるための若手技術者による専門知の集結と研究テーマ探索（幹7-20）

平幹事長より、重点研究課題について説明があった。

- ・3月に第1回全体委員会が開催された。
- ・WGは専門領域をもとに、5つに分けて活動する。

16. 複合構造委員会第3回委員会議事次第（案）について（幹7-21）

平幹事長より、第3回委員会議事次第（案）について説明があった。

- ・審議事項として、H153委員、委員会規則改定を予定している。委員長選挙の電子投票についても今後審議が必要だが、方法案の策定にもう少し時間が必要であるため、第3回委員会では状況報告とする。
- ・小委員会報告の報告者は委員長名としているが、連絡幹事が調整、確認する。

17. その他

(1) 委員会規則、運営細則の改正について（幹7-23）

平幹事長より、任期の改正および複合構造委員会運営細則の改正について説明があった。

- ・4月1日から1期2年とする→6月1日から1期2年とすると変更する。
- ・委員の選出に関する記載の追加、委員長を委員の前に記載する。
- ・委員会の人数を40人から変更するかを検討する。

(2) 委員長選挙の電子化について（幹7-24）

平幹事長より、委員長選挙について説明があった。

(3) 構造系3委員会報告

平幹事長より構造系3委員会報告会について説明があった。

18. 閉会挨拶

- ・北根副委員長より，閉会の挨拶があった．

以上
(記録：横田)